

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物 ILAS Seminar :Genetic study of wild animals			担当者所属 職名・氏名	野生動物研究センター 教授 村山 美穂		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	8 (8) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8月中に3日程度 毎月1回18:30か らオンラインセ ミナー等	教室	野生動物研究センター3階303研 究室			使用言語	日本語
キーワード	DNA / 動物 / 行動 / 保全						
[授業の概要・目的]							
野生動物の行動や生態を知るのに、動物自体を見るのが困難、見かけと違う遺伝的、内分泌的背景がある、など、遺伝子の解析が必要になる場合があります。 ホームページhttp://miho-murayama.sakura.ne.jp/でもそれらを紹介しています。 本ゼミでは、セミナーや実習を通して、大学院生や研究者から学び、その一端を体験していただきたいと思います。							
[到達目標]							
実験によるデータ採取、まとめ、発表などの過程を、見学および体験することにより、野生動物の遺伝子研究の具体的なイメージが持てるようになる。将来の進路の選択肢を増やすために、研究に関する知識を習得する。							
[授業計画と内容]							
4-7月の間に、3回程度開催する異分野ゼミ（http://miho-murayama.sakura.ne.jp/info/index.html）などに、1回以上参加する。以下の研究内容を紹介する。 1.性格関連遺伝子の研究紹介 2.生殖細胞保存の研究紹介 3.猛禽類の保全遺伝の研究紹介 4.野生動物の年齢推定の研究紹介 5. ガーナでの野生動物保全の研究紹介 京都市動物園の訪問（6月の土曜日に1日）に参加する。以下の研究内容を学び、自身でも調べる。 6. 動物園での保全研究 7. 遺伝子や、野生動物保全について調べて発表する。 8月6日以降に3日程度、遺伝子解析の研究紹介や体験実習を行う。日程は登録者と相談の上調整する。以下の内容を学ぶ。 8.DNAの抽出 9.鳥類の性判別 10.動物の行動に関連する遺伝子の型判定							
----- ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点およびレポート。詳しくは授業中に説明する。

[教科書]

京都大学野生動物研究センター編『野生動物』（京都通信社，2018）ISBN:978-4-903473-60-4

[参考書等]

（参考書）

村山美穂 他 編著『遺伝子の窓から見た動物たち』（京都大学学術出版会，2006）ISBN:978-4-87698-682-8

[授業外学修（予習・復習）等]

動物や遺伝子に関する専門用語を調べ、授業時の質問を考える。関連する内容のセミナーなどを逐次紹介するので、積極的に参加する。

[その他（オフィスアワー等）]

遺伝子に関する本（上記参考書など）を、1冊は読んでおくこと。

なお、「学生教育研究災害傷害保険」等の傷害保険に加入しておくこと。

「野生動物学入門」も受講すると理解が深まります。

公開セミナーやシンポジウムなど内容理解に役立つ機会の情報も、授業期間中に随時お知らせします。

体験実習の実施日が採点報告日（前期8月中旬頃）以降となる場合は、成績発表が遅れることがある。

[主要授業科目（学部・学科名）]